



医療・介護・健康分野におけるICT利活用

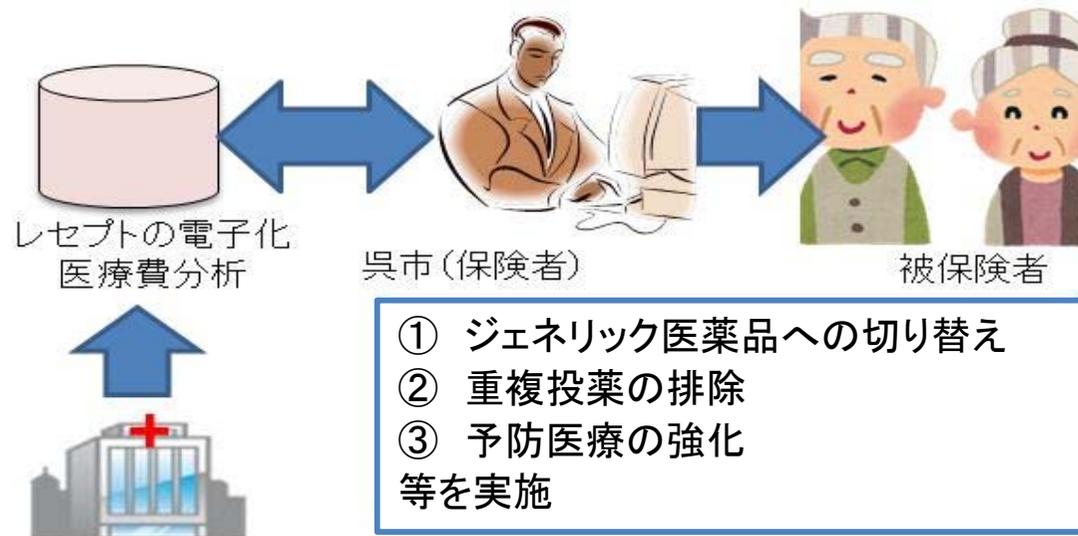
広島県呉市と連携し、医療費適正化や健康寿命の延伸といった課題に対処するため、ICTを活用し医療費適正化を実施する取組。

事業内容

- ✓ レセプト（診療報酬明細書）データを独自のICT技術で分析し、効率的・効果的な保健事業（データヘルス）の実施に必要な情報を提供するサービスを実施。
- ✓ 提供された情報をもとに、被保険者への糖尿病性腎症重症化予防、受診勧奨指導、重複・頻回受診者指導、ジェネリック医薬品利用促進通知等に活用。

成果・効果

- ✓ ジェネリック医薬品への切り替えによる医療費削減効果約1億5千万円（平成25年度実績）
- ✓ 糖尿病予防指導対象者からの透析移行者は0名（平成22年度～25年度の指導対象は260名）
- ✓ 医療費の適正化のみならず、ヘルスケアビジネス創出により地域の雇用・健康寿命の延伸に貢献している（看護師等）
- ✓ 平成26年度から全ての保険者において「データヘルス計画の策定」が義務付け





### 教育分野におけるICT利活用

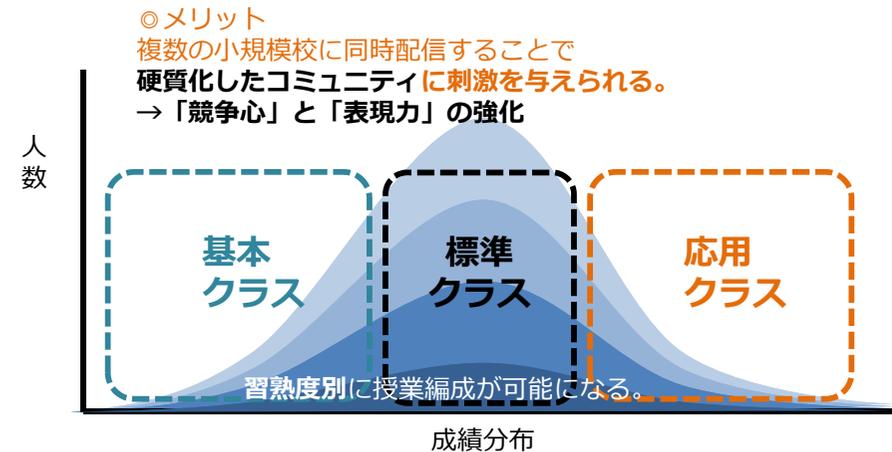
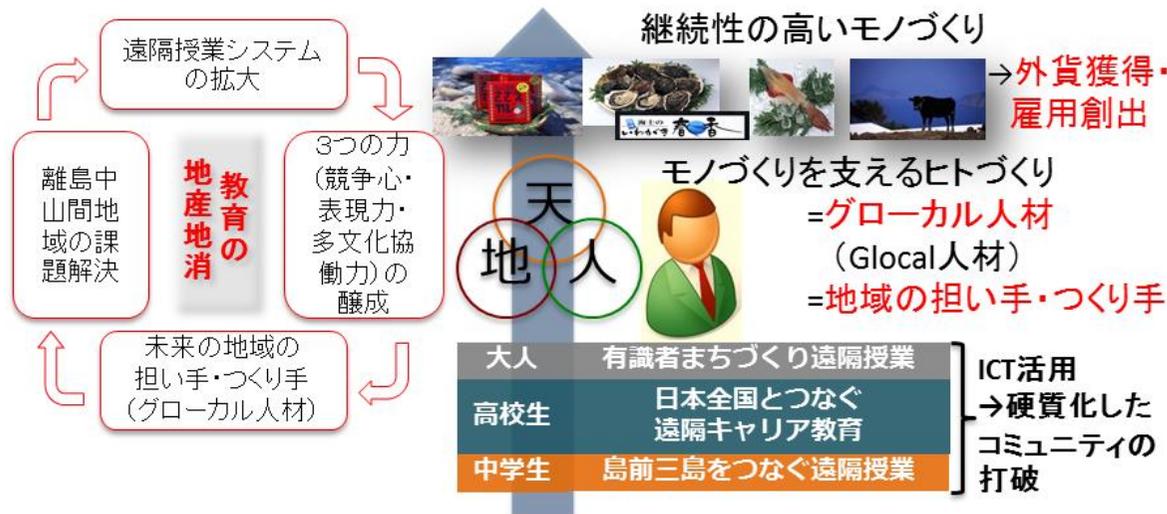
遠隔授業により持ち込まれた多様性(多様な大人・高校生・中学生)の中で、競争心・表現力・多文化協働力を身につける、持続可能な地域づくりに必要不可欠なグローバル(Glocal)人材の育成を実現する取組。

#### 事業内容

- ✓ 離島(中山間)地域において、ICTを活用し硬質化したコミュニティを打破するため、ICTを活用して高校生向け遠隔キャリア教育と中学生向け遠隔授業を実施。

#### 成果・効果

- ✓ 高校生向け遠隔キャリア教育の参加生徒アンケートでは、「また参加したい」「継続して交流したい」「他の地域とも交流したい」が100%となり有効性を確認
- ✓ 全国から協働オファー
- ✓ 中学生向け遠隔授業では、英語講師群馬県在住(テレワーク)による英語講師の実現
- ✓ 更に、島前三島(中ノ島、西ノ島、知夫里島)の中学生に加え、兵庫県南あわじ市沼島の中学生の参画に拡大





# 【地域情報化大賞2015奨励賞】 天かける医療介護連携事業運営協議会

## 医療・介護・健康分野におけるICT利活用

尾道市医師会方式として良く知られている切れ目のない医療・介護連携にICT ネットワークを活用し、多職種協働の円滑な情報共有を図る取組。

### 事業内容

- ✓ 医療と介護とが一体化された適切な入力システムはなく、医療に届く介護等の情報入力システムを開発。
- ✓ 更に、壮年期の健康推進、健康寿命延伸を目的として健診情報等を連携させ地域包括ケアICTシステムを構築。

### 成果・効果

- ✓ 尾道市内の医療施設、介護施設等の128施設が参加。
- ✓ 個人情報使用の同意患者数は約16,000人、毎月平均で約300人増。(平成28年3月末現在)
- ✓ 住民・自治体の医療費を軽減。医療機関における重複検査等が11%減少、薬局において重複調薬等の発見率が4%(平成25年3月時点)
- ✓ 地域包括ケアカンファレンスに画像・検査・処方情報を有効活用。
- ✓ 医師が健診情報を診ることによる健康増進・健康寿命の延伸。特定健診(メタボ)非該当者の内、病人が4%、病気予備群が6%であることが判明。病人の2/3は未検診であったことが判明(平成27年12月現在)

